

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和4年7月21日(2022.7.21)

【国際公開番号】WO2021/130864

【出願番号】特願2021-566607(P2021-566607)

【国際特許分類】

G 0 6 N 2 0 / 0 0 (2 0 1 9 . 0 1)

【 F I 】

G 0 6 N 2 0 / 0 0

10

【手続補正書】

【提出日】令和4年5月19日(2022.5.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

特徴DB111は、複数の行動特徴を、各々の行動特徴に対応するクラス情報と共に格納している。行動特徴は、人物の行動の特徴を示す情報であり、例えば、ある特徴空間のベクトルによって表現される。行動特徴は、例えば可視光カメラ、赤外カメラ、デプスセンサなどのセンサによって得られる情報（以下、「センサ情報」とも表記）を基に生成される。一例として、行動特徴は、行動を取っている人物が存在する領域をセンシングして得られるセンサ情報、当該センサ情報に基づいて生成される人物の骨格情報、もしくはそれらを所定の関数を用いて変換した情報などを含む。ただし、行動特徴はその他の情報を含んでもよい。なお、行動特徴の生成および取得には既存の手法を用いることができる。クラス情報は、行動特徴がどのような行動に関するものか、すなわち行動の種類が何かを表す情報である。クラス情報は、例えば、図示しない入力装置を介して、人手で入力される。その他にも、クラス情報は、各行動特徴を該当するクラスに分類するように学習された学習モデルを用いて、上記のように取得された行動特徴それぞれに付与されてもよい。

20

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0064

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0064】

なお、情報処理装置1000のハードウェア構成は図9に例示される構成に限定されない。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0071

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0071】

(2 第2実施形態)

(2.1 システム構成)

本実施形態の特徴学習システムは、以下で説明する点を除き、第1実施形態と同様の構成を有する。図11は、第2実施形態の特徴学習システム100の構成を例示する図である。

40

50

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0078

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0078】

また、表示処理部 104 は、学習用 DB 113 にすでに格納されている学習用データの分布（例えば、学習用データに含まれる類似度に基づく分布）を示す情報を更に含む画面を出力するように構成されていてもよい。

10

20

30

40

50